

# みよた未来人

## 町長対談

第5回株式会社ムーブル代表取締役内堀拓海さん



東京都渋谷区の会社オフィスで。内堀代表取締役(右)と小園町長(左)

うちぼり・たくみ 1996年、御代田町塩野生まれ。野沢北高校を経て2015年東洋大学経営学部入学。大学2年生でSNS等のマーケティングを手掛ける株式会社グループ(東京都渋谷区)に学生インターンとして入り、企業SNSの運用などを実践した。昨年のハロウィンの日、同じ学生インターンの河合勇樹さんと大学在学中にムーブルを創業した。

### Profile



元新聞記者の小園町長が、御代田町、そして長野の、日本の未来を担うキーパーソンと語り合います。原稿も自ら執筆しています。第5回は、株式会社ムーブル代表取締役(東京都渋谷区)の内堀拓海さんです。ムーブルはSNSでの企業のファンづくりを支援する会社で、主にスマートフォンと同じ縦型のクリエイティブ(動画、静止画を含む広告素材)を制作しています。内堀さんは塩野出身。大学在学中に起業した意図や今後の展開について伺いました。

## 動画・画像制作をスマホで完結 SNSで悩む企業を応援

—渋谷区内のビルの9階、オフィスに入るといきなりパークウンターがあつて驚きました。

内堀「ムーブルを創業期から支援いただいているグループのオフィスを間借りする形で仕事しています。このカウンターは社員同士が楽しく交流する場所となっております」

—動画制作はすべてこのオ

フィスでやっているんですか。

内堀「いいえ、すべてではありません。制作してくれているのは10代、20代のクリエイター約100名で、最初はこのオフィスに来てもらいますが、彼らの感性を最大限発揮してもらいたいと思います、ある程度経験を積んでからは、彼らのやりやすい場所で仕事をしてもらっています」

—動画制作はどんな機材でやるんですか。

内堀「すべてスマホで完結できます。今の若者にとって日常生活はスマホ・SNSです。スマホで何かを作ることに慣れており、動画編集もスマホでできちゃいます。ちなみに、ムーブルのInstagram(インスタグラム)アカウントでは、スマホ加工の過程やノウハウ

ウを紹介しています

—それだとほかに真似する会社が出てきて大変じゃありませんか。

内堀「むしろ真似したいと思った人が真似できることを重要視しています。どんな真似しようとしてくれる人が増えれば、SNSクリエイティブ制作のマーケットが広がることになり、結果的にビジネスチャンスが広がると考えています」

た。また、僕自身は就職活動もして、実は広告代理店に内定ももらっていたのですが、若い今なら起業してもリスクが低い、今だからやれる、とも思いました」

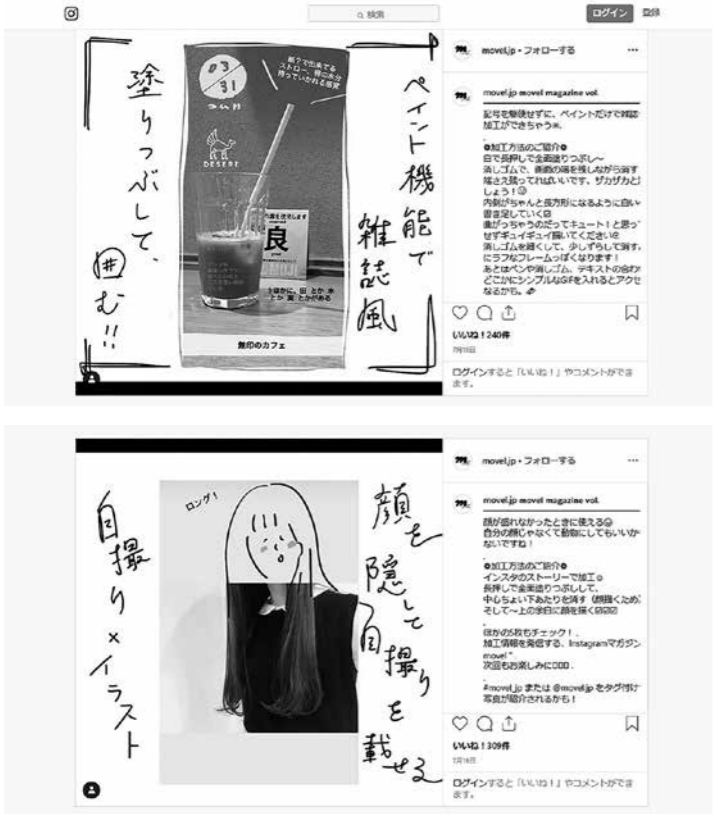
—どんな企業のクリエイティブを制作しているのですか。

内堀「InstagramやTikTok(ティックトック)などの動画・写真共有SNSは特に若い女性のユーザーが多いので、ビューティ、ファッション関係、大手小売業などが多いですね。いま勢いのある媒体だけに、特にここ3カ月くらいは受注が伸びており、需要の高まりを感じますね。ユーザーにとって身近に感じてもらえるようなクリエイティブを制作できていることを評価いただいているのだと思います。必ずしもハイクオリティの映像が受け入れられるわけではない時代ですからね。SNSでなかなか

ユーザーの反応を得られない、媒体の雰囲気合ったクリエイティブを作れないと悩まれている企業様はぜひご相談ください」

—現在開催中の「浅間国際フォトフェスティバル」では、写真の加工に関するワークショップを開催されるのとどうですか。

内堀「当社のクリエイターを講師として、参加者が会場内で撮影した写真を加工する体験をしていただきます。さらなる写真の可能性を感じていただけたらと思います。今回、地元からこういう声をかけてもらったことがとてもうれしいです。いまは東京を離れることは考えていませんが、首都圏と御代田近辺の二拠点居住を実践している人が知人にもいてうらやましく感じます。いずれそういう働き方も考えていきたいですね」



様々な加工方法を紹介しているInstagramアカウント



「ムーブル」ホームページのトップページ



対談の様子

—いま23歳で、昨年大学在学中に会社を立ち上げたとのことですが。

内堀「学生中に励んでいたガブーでのインターンを通して、企業がSNS動画の特性・文脈に沿った自然なクリエイティブを作れずに困っている姿を多く見ました。それと同時に、SNSを最も使いこなしている今の若者にとっては当たり前の「スマホでサクッと動画や画像を作ること」がとても価値のあることだと気づきました。そこで、企業側と若者としての視点、両方を持っている自分だからこそ、今やる意味があると思ひ、起業を決意しまし

**浅間国際フォトフェスティバルワークショップ「スマホde写真加工」**

日時 10月27日(日) 午後1時~4時 ※随時入場可

参加費 500円 (小学生まで無料)

持ち物 自身のスマートフォン

InstagramやTikTokでかわいい・カッコいい投稿ができるよう、その日から実践できるワザを教えます。※当日は「御代田day」を開催しており、写真展の町民入場は無料となります。